



日本の次世代リーダー養成塾 2021

来たれ! 挑む高校生!
第18回塾生募集
青森県推薦枠

一流講師陣の講義が創造力を刺激する
知的興奮に満ちた2週間。

全国の高校から集う170人の有志たちとの
『アツい議論』がまたやってきます!!



夢に向かって前進する友との出会い。
未来に向かって果敢に挑む高い志。
あなたの新たな可能性がきっと見つかる!!



青森県推薦枠募集概要

募集期間 2021年 4月1日 木

≫ 5月7日 金

募集人数 10名 県内の高校に在学中の1~3年生

参加費用 13万円 受講料等

青森空港から会場の往復旅費は塾が別途負担します。
自宅から青森空港までの旅費は自己負担となります。

日本の次世代リーダー養成塾 開催概要

開催日程 2021年 7月27日 火

≫ 8月9日 月

会場 福岡県宗像市 グローバルアリーナ
宿泊施設 佐賀県唐津市 波戸岬少年自然の家

主催 日本の次世代リーダー養成塾
塾長 中西 宏明
(一般社団法人 日本経済団体連合会会長)

<https://leaderjuku.jp/> << 開催概要の詳細はコチラからチェック!



青森県推薦枠お問合せ先

青森県企画政策部 地域活力振興課 人づくりグループ
TEL.017-734-9133 FAX.017-734-8027

◎お申込み方法・募集要項の詳細は

▶ 青森県庁ホームページ 人財きらめく青森県 検索

e-mail jinzai@pref.aomori.lg.jp





日本の次世代リーダー養成塾

来たれ! 挑む高校生!
第18回塾生募集 青森県推薦枠

CURRICULUM | カリキュラム概要

- ① 日本や世界を代表する学者や経済人による講義**
 - ❖ 教養系 —— 哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など
 - ❖ ビジネス系 —— 日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど
 - ❖ 国際系 —— 国際問題や外交、国連やNGO活動への理解
 - ❖ 人間学 —— 将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など
- ② ディスカッション**
講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約25名によるグループディスカッションを行います。クラス担任は、日本を代表する企業の中堅社員が務めます。
- ③ アジア・ハイスクール・サミット**
2週間を通して社会課題の解決に向けた議論を行い、具体案を提言する「アジア・ハイスクール・サミット」を開催します。
- ④ フィールドトリップ**
 - ❖ 佐賀県立名護屋城博物館
 - 当時の貴重な資料や遺産を見学し、日本と朝鮮半島間の歴史を学びます。



▲全国から高校生が参加する。



▲仲間たちとの熱いディスカッション。



▲高校生の視点と発想で、今後の日本と世界の在るべき姿を描く。

ある日の塾生の1日	朝食・掃除	7:00 - 8:00	ホームルーム	17:30 - 18:00
	アジア・ハイスクール・サミット	9:00 - 10:30	夕食	18:30 - 19:00
	講義①	11:00 - 12:30	塾生自主企画	19:15 - 20:30
	昼食	13:00 - 13:30	就寝準備	22:30 - 23:00
	講義②	14:00 - 15:30	就寝	23:00
	グループディスカッション	16:00 - 17:30		

自主性を重視し、次世代リーダーに必要な資質を磨きます。

第18回 | 予定講師

92歳で首相に
返り咲いた親日家



マレーシア第4代・7代首相
マハティール・ビン・モハマド

日本人初の国連職員



元国連事務次長
明石 康

生命科学の先端をいく
優しき指導者



お茶の水女子大学長
室伏 きみ子

AI企業の創始者
世界で注目される



株式会社グルーヴノーツ代表取締役会長
佐々木 久美子

受講生の感想 1

リーダー塾で自己形成について深く考えるきっかけとなり、大きな学びに繋がった



第17期生
八戸聖ウルスラ学院
高等学校 2年
ふるい まの か
古井 茉香さん

私は日本の次世代リーダー養成塾に参加するにあたり、ある特別な思いがありました。それは「首都圏と地方の学生格差」の現状を全国の高校生・大人の方々に伝え真摯に向き合う努力をしてもらいたいという思い、そして国内外の高校生と共に行動する事により初めて得られる可能性の大きさや行動することの大切さを感じたいという思いです。以上の二つの強い思いと、これから拓かれる未来に向けてドキドキワクワクした気持ちを抱え、この日本の次世代リーダー養成塾の幕が開きました。

リーダー塾では決まったテーマのもとで塾生同士、徹底的に議論をして政策を打ち出す「アジア・ハイスクール・サミット」を実施しています。解決することが難しい社会課題に挑戦して、やがて近い将来、リーダーとなったときにどう、課題に取り組み解決できるか、高校生のうちから経験するのが狙いです。今年は「ウィズ・コロナからポスト・コロナへ社会をどう変革していくか 高校生からの提案」という議題に対し、午後の講義に加え、空いた時間はクラス内ディスカッションという超多忙スケジュールで、議題に向けたプロジェクト案を考え抜きました。キーボードに汗を滲ませ、パソコンの画面に向かって熱く議論を四六時中し続けるという、普通の高校生とは一風二風変わった夏休みを送ることができた事に感謝しています。さらに、世界の留学生と英語でディスカッションをする事や海を越えて絆を深めること、そして科学者や医者、起業家、プログラマーなど多岐に渡る様々な分野の最前線で活躍している方々から講義を聞くという貴重な機会を得る事ができました。自己形成について深く考えるきっかけとなり、大きな学びに繋がったと確信しています。

受講生の感想 2

リーダー塾は、未来を広げる素晴らしい経験だった



第17期生
青森高等学校 2年
やま だ とも や
山田 知弥さん

リーダー養成塾では、素晴らしい講義を数多く受けた。各分野のスペシャリストが講義して下さる内容は、どれもユニークであり、興味深かった。

私がリーダー養成塾で1番心に残っているのが、アジアハイスクールサミットである。私の所属していた3組は、様々な問題が起こった。始めは、議論が全くとまらなくなり、失敗の連続だった。何も決まらない現状に嫌気がさしていた私は、3組の数人のメンバーと改革を行った。例えば、始めは、クラスでの議論の進行などをすべてを、委員になった2人が行っていた。だが、何も決まらない状況に直面し、委員の仕事が多すぎてアップアップになっていると考えた私とその仲間、クラスにファシリテーター制度と統括部をつくった。ファシリテーター制度では、毎日議論を進める人が異なり、その日ファシリテーターを行った人が、次のファシリテーターを指名するというものであった。また、統括部は、話し合いが止まってしまう、何も決まらない状況を避けるため、3組で推薦された4人が統括部に所属し、意見をまとめるというものであった。この2つの改革が功を制し、上手く話し合いが進み、全体発表で、クラスとして満足できる発表ができた。このアジアハイスクールサミット中、1度仲間とぶつかることがあったが、今になればよい思い出である。

最後に、このリーダー養成塾は、私の未来を広げる素晴らしい経験となった。だからこそ、私はこのリーダー養成塾にこれからも、多くの青森県の高校生が参加し、成長することを真摯に願っている。このリーダー養成塾にご尽力された方々に、心から感謝するとともに、将来の世界のリーダーの一人として、これからも成長しつづける私でありたい。